

平成 28 年度

社会福祉法人 伊賀市社会事業協会 事業報告

## 1 法人について

「社会福祉法等の一部を改正する法律（改正法）」が、平成 28 年 3 月 31 日に成立・公布され、一部が 4 月 1 日から施行となった。改正法の中心は、社会福祉法人制度の改革と福祉人材の確保の促進である。

社会福祉法人制度改革では、公益性・非営利性を確保する観点から制度を見直し、説明責任を果たし、地域社会に貢献する法人の在り方を徹底するため、1 経営組織のガバナンスの強化、2 事業運営の透明性の向上、3 財務規律の強化、4 地域における公益的な取組を実施する責務、5 行政の関与の在り方の 5 つを主な内容としている。

第 1 の経営組織のガバナンスの強化では、経営の意思決定（評議員会）と、業務執行（理事会）を分離し、役員、評議員の権限・責務・責任の範囲を明確化させるほか、会計監査人の導入が規定された。第 2 は、社会福祉法人の高い公共性に照らした事業運営の透明性の向上であり、情報公開には、財務諸表に加え、役員報酬基準や報酬額等の項目が追加されている。第 3 の財務規律の強化は、適正かつ公正な支出管理の確保、余裕財産、いわゆる内部留保の明確化と福祉サービスへの再投下の 3 本からなり、社会福祉充実残額の計算と、それに基づく充実計画の作成が求められたのである。第 4 の地域における公益的な取組を実施する責務は、改正法の第 24 条第 2 項に規定され、社会福祉法人の本旨に従い、他の事業者が手を出せないような困難事例であったり、既存の制度では対象とならない福祉ニーズに対しても公益的な取組が求められたことである。第 5 の行政の関与の在り方は、所轄庁における指導監督の機能強化や、国・県・市の連携強化となっている。

改正法では、福祉サービスの担い手である社会福祉法人の制度改革と、福祉人材確保の促進を一体的に行なうことで、福祉サービスの供給体制を充実、強化していくこととしている。

当法人としては、既存の社会福祉法人が行なわなくてはならない定款変更作業や、評議員の選任の承認など、一連の制度改革のための準備を的確に進めることができた。

これまでの社会福祉法人制度は、昭和 26 年（1951）の社会福祉事業法（現社会福祉法）の制定により制度化された。当法人は法制定以前（昭和 23 年（1948））に、有志の民間人らが相寄って発足させた上野市社会事業協会が原点である。その後 70 年近くの間社会福祉法人をめぐる環境が大きく変化し、また利用者のニーズが多様化してきたが、創設以来の「相扶相愛」の精神と、経営理念である「信頼」、「博愛」、「誠実」に基づき、これまで関係行政や多くの利用者とそのご家族、また地域の皆様方からの期待と理解を得て各種事業を展開してきた。今後とも地域社会の将来を見据えながら、法人組織の更なる情報開示の徹底や地域への公益的な取組の拡大、ガバナンスの強化を図っていかねばならない。

本年度も外部監査法人による任意監査を継続して実施したほか、保育園（三田・中瀬城東・長田）及びかしの木ひろばの第三者評価の受審や、財務諸表の完全公開を進めた。また地域における公益的な取組として、利用者の負担軽減等のほか、梨ノ木診療所においては、長田地区住民を対象とした「なしのき健康講座」を実施し、また、高齢者を対象とした「買い物バス運行事業」は、試験運行に引き続き定期運行を実施した。更に、伊賀市社会福祉法人連絡会に参画し、伊賀市全域に

おける公益的な活動に貢献した。

現在の日本社会は、人口減少社会であり、今後その減少速度が加速され、2050年代には人口が1億人を割り込むといわれている。この中で労働力の中心である15歳から64歳までの生産年齢人口と未来の労働力の中心となる0歳から14歳までの年少人口は共に減少し、人口減少と併せて生産年齢人口等の割合が減少していくという構造上の変化が見られる。よって、日本社会の労働人材不足の要因としては、人口減少と人口構造の変化が主要因の1つであるといえる。これは、全産業にあてはまることであり、とりわけ福祉サービスなどの労働集約型の産業においては、ますます深刻な問題となっていくと考えられる。当法人も人的資源の確保のため、働く職員の定着促進とそのための育成対策が重要な課題であり、働き続けることができる職場環境の整備が必要不可欠である。また、十分な人材確保のためにも、多様な勤務形態や短時間勤務職員の働き方の見直しなど、ワークライフバランスを改善していくことも必要である。加えて、メンタルヘルス(こころの健康相談室を月2回開設して、職員が受けるストレスの予防や軽減のための研修、相談対応に努めている)などの労働環境リスクの管理についても全職員を対象として取り組んでいる。平成26年(2014)6月に改正された労働安全衛生法に基づくストレスチェックは、9月～10月に実施し、結果を今後のそれぞれの職場環境改善に生かすことができた。

更に、職員のスキルアップやキャリアパスを支援するための研修への参加や福祉職に関する資格取得のための取り組みにも力を入れている。今後は福祉専門職に見合った処遇改善にも取り組み、職員のモチベーションを維持する環境を整えていかなければならない。

優秀な人材育成とその流失を防止するため、本年度も処遇改善に努め、各階層の専門的研修の受講機会を最大限に活用してスキルアップを図ったほか、法人内研修会などを開催し、社会・経済等にわたる幅広い知識を吸収し、先見力、考察力を発揮することができる福祉職員の育成、資質向上に努めた。

更に、衛生委員会では、働き易く安全な職場づくりを進めるため、産業医や衛生管理者と共に労使が協力して安全労働の確立に取り組んでいる。

#### (1) 理事会の開催

回数	開催日	出席者数	議決・同意事項
第1回	平成28年 5月27日(金)	11名	<ul style="list-style-type: none"><li>・平成27年度事業報告</li><li>・平成27年度各拠点区分別決算</li><li>・監査報告</li><li>・役員報酬規程の一部改正について</li><li>・名誉顧問の委嘱について</li></ul>
第2回	8月2日(火)	12名	<ul style="list-style-type: none"><li>・府中保育園移転改築事業実施設計、工事監理業務等請負契約の締結について</li></ul>
第3回	12月9日(金)	12名	<ul style="list-style-type: none"><li>・平成28年度補正予算(第1号)</li><li>・就業規則の一部変更について</li><li>・経理規程の一部変更について</li><li>・定款変更について</li><li>・評議員選任、解任委員会の設置について</li><li>・評議員選任、解任委員会の委員の選任について</li><li>・新評議員候補者の推薦について</li></ul>

第4回	平成29年 1月24日(火)	11名	・工事請負契約の締結について (府中保育園移転改築事業関連)
第5回	2月9日(木)	11名	・平成28年度補正予算(第2号)
第6回	3月22日(水)	11名	・平成28年度補正予算(第3号) ・平成29年度事業目標 ・平成29年度収支予算 ・理事、監事の選任について ・新理事、新監事の選任について ・主要人事について ・就業規則等の一部改正について

(2) 評議員会の開催

回数	開催日	出席者数	議決・同意事項
第1回	平成28年 5月27日(金)	24名	・平成27年度事業報告 ・平成27年度決算 ・監査報告 ・役員報酬規程の一部改正について ・名誉顧問の委嘱について
第2回	12月9日(金)	23名	・平成28年度補正予算(第1号) ・就業規則の一部変更について ・経理規程の一部変更について ・定款変更について
第3回	平成29年 2月9日(木)	20名	・平成28年度補正予算(第2号)
第4回	3月22日(水)	24名	・平成28年度補正予算(第3号) ・平成29年度事業目標 ・平成29年度収支予算 ・新理事、新監事の選任について ・主要人事について ・就業規則等の一部改正について

(3) 評議員選任・解任委員会の開催

回数	開催日	出席者数	議決・同意事項
第1回	平成29年 1月18日(水)	4名	・評議員の選任について

(4) 監事業務

開催日	出席者数	内 容
平成28年 5月24日(火)	3名	事業監査、会計監査
7月21日(火)	1名	府中保育園移転改築事業実施設計、工事監理業務入札立会い
10月5日(水)	3名	平成28年度社会福祉法人指導監査立会い
平成29年 1月18日(月)	1名	府中保育園移転改築事業入札立会い

3月10日(金)	2名	監査法人との意見交換会
----------	----	-------------

(5) 施設整備について

・防犯カメラ設置工事

自ら避難することが困難な障がい者や高齢者施設における安全・安心を確保するため、防犯カメラシステムを導入し、防犯対策の強化を推進した。

梨丘園 防犯カメラ設置工事

三重県障害者施設整備補助事業（大規模修繕事業）

工事請負業者 株式会社村脇電気  
伊賀市緑ヶ丘西町 2342 番地の 10

工期 平成 29 年 3 月 21 日～平成 29 年 3 月 29 日

工事金額 860,760 円(消費税込み) 内、三重県補助金額 645,000 円

完了年月日 平成 29 年 3 月 29 日

契約方法 一般競争入札

梨ノ木園防犯カメラ設置工事

伊賀市補助事業（地域介護・福祉空間整備等施設整備事業）

工事請負業者 株式会社村脇電気  
伊賀市緑ヶ丘西町 2342 番地の 10

工期 平成 29 年 2 月 27 日～平成 29 年 3 月 31 日

工事金額 437,400 円(消費税込み) 内、伊賀市補助金額 437,000 円

完了年月日 平成 29 年 3 月 31 日

契約方法 随意契約

第二梨ノ木園防犯カメラ設置工事

伊賀市補助事業（地域介護・福祉空間整備等施設整備事業）

工事請負業者 株式会社村脇電気  
伊賀市緑ヶ丘西町 2342 番地の 10

工期 平成 29 年 2 月 21 日～平成 29 年 3 月 31 日

工事金額 333,720 円(消費税込み) 内、伊賀市補助金額 333,000 円

完了年月日 平成 29 年 3 月 31 日

契約方法 随意契約

・府中保育園移転改築事業関連

昭和 50 年(1975)に竣工し、老朽化した府中保育園は、市立佐那具保育所と統合して、旧府中一小学校跡地に移転改築することとなった。本事業は、平成 28 年度及び平成 29 年度の 2 ヶ年事業となり、府中保育園の新たな園舎での保育開始は平成 30 年(2018)1 月初旬を予定している。同年 4 月 1 日からは佐那具保育所の利用児童も通園を予定している。

実施設計・工事監理業務の入札

設計受託業者	株式会社阿波設計事務所 三重支店 津市一志町波瀬 6588 番地の 2
完了期限	平成 30 年 2 月 28 日
契約金額	15,984,000 円 (消費税込み)
入札年月日	平成 28 年 7 月 21 日
契約方法	一般競争入札
工事施工業者の入札	
工事受託業者	株式会社福田豊工務店 伊賀市上野茅町 2722 番地の 6
完了期限	平成 30 年 2 月 28 日
契約金額	451,440,000 円 (消費税込み)
入札年月日	平成 29 年 1 月 18 日
契約方法	一般競争入札

(6) 法人本部の事務局体制の強化及び運営、管理

事務局体制の充実強化を図ると共に、中長期の課題や当面の諸問題を検討する経営企画委員会、研究協議や事務処理対応等の意見交換を行なう企画運営会議及び施設長会を、それぞれ毎月開催を基本とし、事業運営及び施設の運営管理に万全を期するよう努めた。

また、中・長期事業計画策定プロジェクトチームが中心となって、平成 28 年度中期事業計画を策定した。

本年度、虐待防止を考える委員会を設置し、法人内の各施設における虐待や身体拘束の防止、早期発見、早期対応等の体制を見直した。

(法人内研修)

月 日	研 修 テ ー マ	講 師
平成 28 年 6 月 10 日(金)	新任職員研修会	福祉レクリエーションワーカー 鈴木 寿子 氏 伊賀市消防本部中消防署員
7 月 27 日(水)	今どきの若い職員を育てる 11 のキラータクニック	臨床心理士 北 田 義 夫 氏
8 月 29 日(月)	南極に行って生き方が変わった ～南極観測隊から防災士、有機農業～	岩 野 祥 子 氏
9 月 26 日(月)	不審者侵入対応講習	伊賀警察署生活安全課 警部補 江 西 淑 人 氏
11 月 8 日(火)	新任職員フォローアップ研修会	株式会社インソース 講 師 重 里 恭 子 氏
11 月 18 日(金)	職場や日常生活における言葉と 人権について	伊賀市人権生活環境部 部 長 大 橋 久 和 氏
平成 29 年 1 月 24 日(火)	安全運転講習	損害保険ジャパン日本興亜株式会社 津支社 神 野 卓 也 氏
3 月 4 日(土)	法人内主任研修会 講演 「今、世界では何が」	社会福祉法人伊賀市社会事業協会 名誉顧問 森 下 達 也

## 2 保育園について

### (1) 委託児童数

	0歳児			1歳児			2歳児			3歳児			4歳児			5歳児			合計		
	短	標準	合計	短	標準	合計	短	標準	合計	短	標準	合計	短	標準	合計	短	標準	合計	短	標準	合計
曙	8	89	97	45	199	244	94	335	429	149	318	467	85	431	516	48	420	468	429	1792	2221
睦	14	67	81	73	110	183	21	144	165	75	208	283	119	117	236	60	254	314	362	900	1262
三田	0	0	0	75	45	120	24	1	25	125	66	191	53	78	131	120	6	126	397	196	593
中瀬城東	7	108	115	17	161	178	95	161	256	75	233	308	122	237	359	80	205	285	396	1105	1501
友生	12	41	53	29	43	72	73	86	159	36	64	100	36	120	156	65	163	228	251	517	768
花之木	1	59	60	34	73	107	58	79	137	33	90	123	31	76	107	41	131	172	198	508	706
予野	0	31	31	12	13	25	12	36	48	36	64	100	5	91	96	0	48	48	65	283	348
長田	2	7	9	34	84	118	26	46	72	77	98	175	53	72	125	31	53	84	223	360	583
古山	0	24	24	3	25	28	16	32	48	68	30	98	30	15	45	30	32	62	147	158	305
みどり	12	98	110	70	154	224	56	269	325	168	263	431	132	383	515	177	387	564	615	1554	2169
ひめめ	10	39	49	45	101	146	48	183	231	92	256	348	91	153	244	51	213	264	337	945	1282
みどり第二	0	65	65	2	173	175	18	185	203	82	229	311	5	286	291	75	285	360	182	1223	1405
府中	0	11	11	29	73	102	58	56	114	118	140	258	94	206	300	36	120	156	335	606	941
ゆめが丘	4	104	108	15	224	239	97	191	288	117	363	480	151	356	507	89	499	588	473	1737	2210
合計	70	743	813	483	1478	1961	696	1804	2500	1251	2422	3673	1007	2621	3628	903	2816	3719	4410	11884	16294
月平均	5.8	61.9	67.8	40.3	123.2	163.4	58.0	150.3	208.3	104.3	201.8	306.1	83.9	218.4	302.3	75.3	234.7	309.9	367.5	990.3	1357.8
摘要	充足率 94.0%																				

### (2) 保育事業充実のための諸活動

子どもたちの心身の発達と成長がより豊かで調和のとれたものになるよう、養護と教育とを一体にした安心安全な発達環境づくりを進め、乳幼児の成長発達を保障する保育内容の充実を図った。更に、地域子育て支援の拠点としての機能を高め、子育て家庭に対する支援対策を一層強力に推進するよう努めた。

平成27年(2015)4月から「子ども・子育て支援新制度」が施行された。伊賀市においても「伊賀市子ども・子育て支援事業計画」が策定され、この計画に基づき、子ども・子育て支援が推進されている。当法人では、保護者の子育てと就労の両立支援のため、低年齢児保育推進事業・延長保育事業・家庭支援推進保育事業・障がい児保育事業・地域子育て支援拠点事業・一時預かり事業・休日保育事業・放課後児童健全育成事業等々に取り組み、様々な保育サービスを実施し、常に「子どもの最善の利益」を基本とした子ども・子育て支援事業を推進した。

#### ア 地域子育て支援拠点事業

支援センター名	開設日数	登録世帯数	年間利用人数
地域子育て支援センター 「すくすくらんど」	255日	229世帯	4,462名
小規模地域子育て支援センター 「おひさま広場」	243日	80世帯	536名

他の12保育園においてもミニ子育て支援事業として地域の子育て支援に取り組んでいる。近年、育児不安や虐待あるいは虐待が疑われる事例が増加してきているため、職員は、保護者支援、相談援助や児童虐待に関する研修会等々に積極的に参加し、当面する子育て相談や虐待防止への対応等に努めた。

#### イ 延長保育事業

曙保育園・睦保育園・中瀬城東保育園・みどり保育園・ひかり保育園・みどり第二保育園・府中保育園・ゆめが丘保育所の8保育園(所)において実施し、保護者の就労と子育て支援の強化を推進した。

#### ウ 一時預かり・休日保育事業

核家族化の進行等による保護者の育児に対する心理的・身体的負担の軽減や、外国籍の児童の受け入れ及び保護者の休日就労等の支援を積極的に進めた。

##### 【一時預かり事業】

園名	年間利用人数	園名	年間利用人数
曙保育園“ピッコロ”	1,064名	みどり第二保育園“きらら”	805名
花之木保育園	125名	古山保育園	29名
長田保育園	15名	三田保育園	115名

##### 【休日保育事業】

園名	開設日数	年間利用人数
曙保育園“ハミング”	68日	457名

#### エ 世代間交流事業

園児たちが老人ホーム等を訪問したほか、地域のお年寄りを園に招待し、菜園活動やクッキングを一緒に行なったり、伝承遊びの教えを受ける等交流を深めた。また、小学生との異年齢児交流、中学校・高校の家庭科学習の一環である「保育体験実習」、上野高校音楽選択生徒による音楽交流活動、伊賀白鳳高校の異年齢児交流事業「花植え体験」「さつまいも栽培、芋ほり体験」等を受け入れ、高校生との交流を深めると共に、様々な体験を楽しむことができた。

#### オ 障がい児保育事業

心身障害児療育保育施設かしのみ園では、従来から心身の発達に何らかの遅れや障がいをもち児童の早期発見、早期療育に努めてきた。このため、当園では、伊賀市子ども発達支援センターとの連携を密にすると共に、職員の療育保育の知識や技術の向上を目的とした研究会・勉強会を開催した。また、医療機関、保健所、児童相談所等の専門機関による指導・援助を受けながら、個別的・集中的療育と、交流保育・統合保育との有機的連携を基本とする当法人独自の療育保育を一層充実させるよう努めた。更に障がいの内容を理解し、親子相互関係の重要性を親が認識することが必要であることから、保護者を対象とする「ふれあい教室」の講演会、輪読会、レクリエーション等の事業内容の充実を図った。また、卒園児保護者、学生、民生児童委員等によるボランティアを積極的に受け入れ、地域との交流を促進したほか、子育て相談に応じる“ふれあいらんど”では、友だちとうまく遊べない子、ことばの発達について気になる子、子育てに悩んでいる保護者等への相談や指導・援助を行なった。

【ふれあいランド】

登録者数	11名	1か月平均利用者数	3名
------	-----	-----------	----

カ 障がい児通所支援事業

小学生を対象に実施している障がい児日中一時支援事業所「ヴェルデ」は、障がい児の日中における活動の場を確保し、保護者の就労支援及び介護の負担軽減を図った。

【ヴェルデ】

登録児童数	43名(1～6年生)	1日平均利用児数	17名
-------	------------	----------	-----

平成28年(2016)4月に開設した“放課後等デイサービス事業所ヴェルデ ドゥ”は、障がい児が、日常生活における基本的動作及び集団行動に適応できるよう、また、生活能力を向上させ社会との交流が図れるように一人ひとりの成長発達に合わせた支援及び訓練を行なった。

【ヴェルデ ドゥ】

登録児童数	18名(1～6年生)	1日平均利用児数	3名
-------	------------	----------	----

キ 放課後児童健全育成事業

女性の社会進出、一人親家庭の増加等により、学童保育はより一層必要性が高まっているため、昼間に保護者が不在となる小学校児童の放課後生活を保障することに努めた。本年度より、成和東小学校区の児童クラブ“成和東”、成和西小学校区の児童クラブ“成和西”は、当法人が指定管理者となり、古山保育園、花之木保育園をそれぞれの所轄として事業を開始した。また、“風の丘”“第2風の丘”では、通常利用時、開所時間を午後7時まで延長し、“キッズうえの”では、長期休暇中(夏休み、冬休み、春休み)の開所時間を30分早めて午前7時30分から開所し、そのニーズに応えた。更に全ての児童クラブで、夏休み・冬休み・春休みには10時間開所を実施し、土曜日利用の受け入れも行なった。また、校区外の利用も受け入れ、地域のニーズにきめ細かく応えるように努めた。

また、本年度より“ゆめドームうえの”において、児童クラブ8施設合同の交流事業を実施した。

【1日平均利用人数】

曙保育園所轄	キッズうえの	32名	ふたば	43名
みどり第二保育園所轄	フレンズうえの	27名	第2フレンズうえの	37名
ゆめが丘保育所所轄	風の丘	43名	第2風の丘	32名
古山保育園所轄	成和東	10名		
花之木保育園所轄	成和西	7名		

ク からだそだて事業

近年、子どもの体力低下が問題となっている。そこで、平成27年度から伊賀市内の全保育所(園)で「からだそだて事業」を実施している。幼児期に習得しておくことが望ましい基本的な動作(走る、跳ぶ、投げる、体を支える等)や運動習慣を身に付けることを目的として、毎日「にんにんタイム」を実施している。継続して実施することで、少しずつではあるが、“体を動かす習慣が身に付く”“活動に対する意欲が増してくる”等、成果が見られてきたと考



える。子どもたちの体力・運動能力が向上し、生涯にわたって心身ともに健康的に生きるための基盤を培う保育を全保育園で検討し、今後も継続して実践していきたい。

#### ケ 第31回子どもフェスティバル

子どもフェスティバルは、当法人の保育園の活動内容を保護者や地域の人々に、更に理解していただく機会とするため、14保育園合同で毎年開催している。本年度で31回目の開催となり、「のぞいてみよう ふしぎなせかい」をテーマとして“ゆめドームうえの”において実施した。身近な素材で作った「驚きや発見がいっぱいの科学あそび、不思議なあそび」のコーナーを中心に、子どもたちが様々なあそびを体験する中で「発見・驚き・感動」を味わえるよう工夫した。約2,600名の来場者があり、参加した子どもたちは、年齢に応じてあそびを楽しみ、また、保護者は、子どもの成長を確かめ子どもへの理解が深まった。

今回より、児童クラブ8施設の児童の制作物展示も実施し、児童クラブに対する周知、理解につながったと考える。

#### コ 読書活動支援事業

子どもにとって生きる力を身につけていくうえで欠くことのできない読書活動(言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かにする)を、曙保育園の本とおもちゃルーム“ぐるんぱ”が中心となり推進した。なかでも絵本ボランティアグループ“もこもこ”の活動を積極的に受け入れ、地域の子どもの読書活動を支援した。“もこもこ”が保育園や児童クラブへ出向いて絵本の読み聞かせをする活動は、年間延べ156回を数えた。

#### サ 食育の推進

近年、国民の食生活をめぐる環境が大きく変化し、子どもの食をめぐっては、発育・発達の重要な時期にありながら、朝食の欠食、食習慣の乱れ、生活習慣病の低年齢化等が生じてきている。そのため、1日の生活時間の大半を過ごす保育園における食育の推進は非常に大切である。そこで、各園では、食育基本法の趣旨に基づいて食育計画を作成し、生活や遊びの中で、身近な大人からの援助を受けながら、また、仲間と関わりながら、栽培活動やクッキング等を行なった。そして、これら食に関わる体験や楽しく食べる経験を通して、食への関心を育み「食を営む力」の基礎を培う食育を実践した。

#### シ 安全対策の充実

頻発する直下型地震や、近い将来、発生が予想される南海トラフ巨大地震、異常気象による自然災害等に対応するため、児童の生命の安全を最優先とする防災計画や施設危機管理マニュアル、備蓄品等の見直しを行ない、安全防災体制の一層の充実を図った。

また、不審者の侵入等から子どもの安全を守るため、防犯訓練を継続して実施したほか、遊具の安全確保については、専門技術者による点検(年1回)を実施し、また、「遊具の日常点検講習会」を受講した職員による伝達講習会を開催し、事故の発生を未然に防ぐために日常点検が重要であることを学ぶとともに、全職員が日常点検を確実に実施できるようにした。安心・安全な食事の提供、食物アレルギー児への対応、食中毒やインフルエンザ等感染症の防止については、関係機関と連携の上、安全対策について慎重に対応し、あらゆる子どもの健康管理の一層の充実を図った。

#### ス 業務効率化推進事業

保育所における保育士の業務負担軽減を目指して、書類作成業務についてのICT化を進めるため、平成28年度は、保育対策総合支援事業補助金を活用して、保育支援システムを、

曙保育園・中瀬城東保育園・みどり保育園・ゆめが丘保育所の4施設に導入した。保育支援システムを活用することで、指導計画や園児台帳の作成等における膨大な事務作業を効率化し、職員間の情報の共有化と、保護者とのコミュニケーションの円滑化を図り、更なる保育の質向上へ繋げたい。

#### セ みえ福祉第三者評価の受審

三田保育園、中瀬城東保育園及び長田保育園の3園が「みえ福祉第三者評価」を受審した。職場での自己評価、第三者評価機関による訪問調査等を通して、保育園運営に対する気づき、課題、改善点等を職員間で共有でき、今後の保育園運営や職員の資質向上に大いに役立ったと考える。

### (3) 職員の研修状況

保育園研修組織では、子どもへの視点を中心におき、保育の質と力量を磨き、自ら考え、保育に資することのできる幅広い知識と教養を身につけられるよう資質向上に努めた。併せて法人内研修に参加するなど、広く社会経済情勢にも視野を広げ、当法人にふさわしい内部研修体制を積極的・能動的に機能させ、職員の人材育成に努めた。

#### ア 職員の研修体制及び各種委員会

- ・ 保育園長会 ・ リーダー研修会 ・ 法人内主任研修会 ・ 新任研修会
- ・ 人権・同和保育研究会 ・ 障がい児療育保育研究会 ・ 保健衛生感染症対策研究会
- ・ 施設安全推進委員会 ・ 子どもフェスティバル推進委員会

#### イ 研修組織わかば会

全保育関係職員を対象とした研修組織わかば会では、「福祉従事者としての基礎的資質向上を図る」をテーマに、福祉と経済の関係、福祉制度の変遷等々を学び、“子どもにとっての最善の利益を実現する”という原点に立って、保育園は何をすべきか等を見極める力を身につけられるよう研修を深めた。就学前保育研究会・乳児保育研究会では、子どもたち一人ひとりの人権を尊重し、乳幼児の発達を保障するよりきめ細かな保育を行なうため、法人内での公開保育を実施したり、各部会別実践テーマに基づき、実践事例を互いに報告し、グループ討議等で互いに学びながら、よりよい保育の実施を目指して検討した。また、給食研究会では、子どもの健やかな成長のために、安心・安全な食事を提供できるよう、食に関する情報を正しく理解すると共に、食中毒防止のために衛生管理等に関する知識を深めたり、食べ物による窒息事故の予防や応急手当等についても確認し合った。また離乳食や食物アレルギーなどに関しては、子どもの発達特性を知り、一人ひとりに応じて個別対応ができるよう、知識や技術を身に付けたり、“食べる機能の発達を促す食事”についての検討も行なった。更に食育にも積極的に取り組み、食への関心が高まるよう、保護者への啓発にも努めた。

#### ウ 職員の資質向上のための研修会参加内容

研 修 会 名	開催月日	参加人数
三重県保育士協会研修会	4月24日 他4件	50名
三重県社会福祉協議会 自主企画研修会	5月9日 他2件	7名
三重県社会福祉協議会 業種別研修会	6月10日	6名
三重県人権教育研究協議会 2016年度人権保育専門講座	6月7日 他8回	44名

三重県保育総合研修会	5月22日	19名
上野同和教育研究協議会 研修会	6月3日 他3件	118名
三重県社会福祉協議会 生涯研修課程「新任・中堅・指導的・管理」	6月14日 他18件	39名
上野同和教育研究協議会研修会 就学前部会研修会	6月14日 他3件	59名
三重県私立保育連盟研修会(園長・中堅・新任 他)	6月1日 他2件	14名
伊賀市保育所(園)連絡協議会 研修会	6月23日 他2件	48名
伊賀市解放保育研究協議会 研修会	6月25日 他3件	205名
伊賀市放課後児童クラブ指導員人権研修会	6月29日他1回	56名
三重県人権教育研究協議会 豊かな就学前人権教育実践交流会	7月9日	12名
三重県保育士協会 伊賀ブロック研修会	7月25日	27名
みえ福祉第三者評価自己評価リーダー研修会	8月4日	3名
伊賀市からだそだて事業 研修会	8月3日 他1件	164名
三重県社会福祉協議会 公開保育	8月23日 他2件	6名
三重県人権教育研究協議会 所長(園長)研修会	9月2日	9名
障がい児保育・障がい者支援関係研修 三重県小児保健学会他	9月4日 他14件	31名
平成28年度放課後児童支援員認定資格研修 (4回連続)	9月4日 他3回	7名
三重県社会福祉協議会 新任職員元気アップ研修(3回連続)	9月7日 他2回	3名
普通救命講習会	9月16日 他4件	32名
全国保育研究大会徳島大会	10月12日～14日	1名
三重県人権・同和教育研究協議会研究大会	10月15日～16日	28名
保健衛生関係研修 ノロウイルス予防対策研修会他	11月29日他6件	23名
平成28年度伊賀市保育所(園)長対象研修会(3回連続)	11月14日他2回	15名
調理関係研修 給食施設従事者研修会他	12月4日他4件	28名
人権を考える市民の集い	12月4日	15名
三重県社会福祉協議会 管理者経営マネジメント研修(3回連続)	1月26日	17名
平成28年度伊賀市保育所(園)主任対象研修会(2回連続)	1月27日他1回	16名
その他	28件	123名
計	127件	1225名

#### (4) 職場実習研修の受け入れ状況

中学生・高校生らが自らの将来や進路を考えるための福祉体験やインターンシップ事業、更には伊賀白鳳高校が実施している伊賀版デュアルシステム(高校生が長期間にわたり企業での実地訓練<OJT>を行ない、教育と職業訓練を同時に実施する体制)の受け入れ等を行なった。更に、大学生で保育士を目指すための保育実習、その他小児看護学、栄養調理、放課後児童支援員実習等を積極的に受け入れた。

##### 【職場実習研修受け入れ状況】

中学生職場体験	延べ 144名	高校生インターンシップ	延べ 67名
伊賀版デュアルシステム	延べ 30名	大学生保育実習	延べ 170名

小児看護学実習	延べ 190 名	大学生栄養調理実習	延べ 10 名
放課後児童支援員実習	延べ 5 名		

### 3 老人ホームについて

老人関係施設は、地域における老人福祉の中核としての役割を担っている。特別養護老人ホーム第二梨ノ木園を母体としてショートステイ、老人デイサービスセンター、在宅介護支援センター等を併設し、利用者と家族双方の福祉の向上を目指しつつ、在宅生活を支える事業を本年度も展開した。

特別養護老人ホームの稼働状況は、年間平均 96.0%と前年度よりやや減少はしているが、安定した稼働率を維持することができた。併設しているショートステイ事業は、85.5%と前年度並みの稼働率となった。

居宅サービス関係分野である老人デイサービスセンターは、平日は、1日平均 23.8名と昨年よりやや減少したが、日曜日の開所については定着しつつあり、平均 14.4名の利用状況となった。

在宅介護支援センターでは、介護支援専門員 3名により、月平均 87名の方々のケアプランを作成し、在宅での生活の支援を行なった。

盲養護老人ホームでは、併設する訪問介護事業所なしのきと連携し、生活支援・介護・看護の一体的運用により、利用者が安らかに、かつ、生きがいのある生活が送れるよう、個々の状況に応じた専門的援助を提供することができた。訪問介護事業所なしのきは、施設利用者への介護サービスだけでなく、少数ではあるが地域の方々にケアプランに即した介護サービスを提供することができた。

各施設に災害対策として、非常用電源配線工事を行ない自家発電機を設置した。緊急時、居室等必要箇所に非常用照明が点灯するよう安全対策を講じた。

激しく変動する福祉情勢の中で、老人関係施設は、利用者の要求、要望、プライバシー等を尊重しつつ、健康で文化的な生活環境の整備充実に努めると共に、人間としての尊厳を大切にやさしくあたたかい良質な福祉サービスの提供を基本理念とした事業を展開した。加えて、今日の福祉ニーズを把握し、かつ福祉の原点と理念を守ることができる老人福祉施設職員としての資質向上のため、幅広い分野における外部研修の受講機会を拡大したほか、法人内における職員研修の充実強化に努めた。

#### <盲養護老人ホーム梨ノ木園>

##### (1) 利用者の状況

##### ア 入退所者数

(平成 29 年 3 月 31 日現在)

区分	利用者数	入所者数	退所者数
人数	68名(定員70名)	7名	6名

イ 年齢構成

以上 未満	65歳 未満	65歳 ～ 70歳	70歳 ～ 75歳	75歳 ～ 80歳	80歳 ～ 85歳	85歳 ～ 90歳	90歳 ～	計	平均 年齢
男	1	3	4	7	4	3	1	23名	77.3歳
女	1	0	8	7	8	9	12	45名	83.5歳
計	2	3	12	14	12	12	13	68名	81.4歳

ウ 視覚に障がいのある利用者数

身障手帳による等級	1級	2級	3級	4級	5級	療育 手帳	なし	計
利用者数	49	9	3	1	2	1	3	68名

(2)ヘルパー利用者数 月平均 15.9人

(3)施設、整備の改善

- ア 本館及び北棟2階階段昇降口に注意喚起装置を設置し、転落防止に備えた。
- イ 電動介護ベッド4台購入、居室の畳入替、エアコン取替等環境整備を行なった。
- ウ 非常用小型発電機の購入及び非常用電源配線工事を行ない非常事態に備えた。

(4)安全対策の充実

共同防火管理協議会として、火災、震災、その他の災害予防及び人命の安全並びに被害の軽減及び防止のための対策会議を月1回開催し、対策等を検討した。また、災害時職員招集基準を策定し、確実な非常招集が可能となるよう携帯用カードを作成し、職員に配付した。更に、非常災害対策計画の策定に着手した。

総合防災対策強化事業として、地域消防団との合同避難訓練を実施した。また、近い将来に発生が予想される巨大地震や、土砂災害、火災などを想定し、利用者を含めた避難訓練を毎月実施した。備蓄品等についても、更なる充実に努めた。

(5)施設機能の強化と個別ケアの充実

- ア 家族との協力関係の緊密化を図った。
- イ 次の各クラブ事業等の実施において、ボランティアとの協働を推進した。
  - ・詩吟・俳句・民謡・生花・書道等各クラブの指導
  - ・上野点字図書館朗読ボランティアによる読書会
  - ・語り部塾生による民話語りの会
- ウ 福祉教育への協力と人材確保に向けた実習受け入れ及び地域交流を促進した。

(交流事業)

実施内容	実施月日	人員
「花まつり」にちなんで西蓮寺住職による法要と法話	4月8日	1名来園
鈴鹿白子地区民生児童委員 施設見学	5月11日	15名来園
黒住教上野中教会草引き奉仕	5月15日	18名来園
岡波看護専門学校3年生の施設実習	6月6日 ～6月10日 4日間	9名実習

岡波看護専門学校3年生の施設実習	6月13日 ～6月17日 4日間	10名実習
長田保育園児との交流会	6月14日	18名来園
大和幸司様 歌謡ショー	6月23日	4名来園
鈴鹿白子地区民生児童委員 白子班	8月23日	13名来園
津保護観察所による社会貢献活動（車椅子清掃）	8月26日	8名来園
伊賀市上野仏教会の方々による盂蘭盆法要	8月26日	8名来園
第11回伊賀市障がい者スポーツ大会	9月10日	7名参加
長田小学校3年生との交流会	9月15日	10名来園
三田コーラスグループ	9月25日	12名来園
長田小学校運動会	10月1日	4名参加
長田地区体育祭	10月16日	3名参加
声のポスト友の会との交流会	10月22日	36名来園
松阪市第四地区住民協議会 福祉部会 施設見学	10月25日	21名来園
長田小学校4年生との交流会	11月11日	8名来園
よっといで祭りへの作品展示（俳句、書道）	11月20日	10名参加
大和幸司様 歌謡ショー	11月22日	4名来園
伊賀市更生保護女性の会による窓拭き奉仕	12月3日	19名来園
長田小学校 学習発表会	2月18日	2名参加
伊賀市上野仏教会の方々による彼岸法要	3月31日	8名来園
	23件	248名

#### (6) 職員の資質向上

老人福祉施設職員としての資質向上を図るため、法人内研修会のほか、梨ノ木職員研修会や施設外の研修会に積極的に参加した。

(梨ノ木職員研修)

研 修 テ ー マ	開 催 月 日
新任職員研修	4月13日
伝達研修 「障害者福祉をめぐる関係法令について」 「アンガーマネジメント研修」	7月29日
おむつの効果的な使い方について(演習)	9月23日
虐待を考える研修会	12月16日・21日
各施設の本年度の取り組み発表 〈梨ノ木園〉 権利擁護委員会における言葉掛け意識向上に向けた取り組み 〈第二梨ノ木園〉 生活機能の原点回帰を目指して ～紙パンツから布パンツへ～ 〈老人デイサービスセンターなしのき〉 機能訓練 ～何でもリハビリに繋がります～ 〈梨丘園〉 LET'S 口腔ケア ～一歩先の歯磨きへ～	3月17日

## (施設外研修)

研 修 会 名	開 催 月 日	参加人員
上野商工会議所 新規学卒就職者激励会&セミナー	4月20日 他1日	1名
三重県社協 「新任、中堅、指導的職員研修」	6月14日 他17日 9件	13名
全老施協 東海北陸ブロック老人福祉施設研究大会(愛知大会)	6月20日～21日	3名
日盲社協 第64回全国盲人福祉施設大会	6月23日～24日	1名
県社協 業種別研修老人Ⅰ 「老人福祉施設における自立支援介護について学ぶ」	6月27日	1名
全盲老連 第36回新任ケアワーカー研修会	6月28日 ～7月1日	1名
近盲協 近畿地区盲老人福祉施設相談員連絡協議会	6月18日 他2件	3名
三重県 平成28年度介護保険サービス事業者等集団指導	6月21日 他1件	3名
三重県社協 課題別専門研修Ⅰ「アンガーマネジメント研修」	7月4日	1名
伊賀老施協 ストレスチェック研修会並びに施設長会	7月15日	1名
全盲老連 第10回視覚障害者ケア専門技術認定講習会	7月26日～29日	1名
伊賀市社会福祉法人連絡会 虐待防止セミナー	7月30日	2名
介護労働安定センター 第3回雇用管理責任者講習	8月24日	1名
三重県社協 自主企画研修「職員を育てる!職場研修の実践方法」	8月25日	1名
三老施協 人材育成に関する研修会[Ⅰ][Ⅱ]	8月30日 他1日	2名
全盲老連 ケアワーカー研修会	9月14日～15日	1名
三重県 介護施設等における権利擁護推進員養成研修	9月22日 他2日	1名
三重県経営協 実践型リスクマネジメントセミナー ～実践から学ぶ管理者の事故対応～	9月28日	1名
三老施協 特養部会接遇研修会[Ⅰ][Ⅱ]	10月3日 他1日 1件	2名
三重県視覚障害者協会 あいふえすたイン菰野	10月6日	1名
三重県社協 自主企画研修「介護記録のポイント」	10月19日	1名
全盲老連 生活相談員研修会	10月19日～20日	1名
いが移動送迎連絡会 運転協力者ステップアップ講習会	10月29日	1名
三重県社協 キャリアパス対応生涯研修課程[チームリーダーコース]	11月1日 他1日	1名
全老施協 第72回全国老人福祉施設大会(石川大会)	11月15日～16日	2名
伊賀保健所 ノロウイルス予防対策研修会	11月29日	1名
三老施協 特養部会接遇研修会(Ⅱ)	12月1日	1名
伊賀老施協 施設長会及び21世紀委員会合同研修会	12月2日	3名
日本認知症ケア学会 東海地域大会	12月4日	1名
三重県社協 業種別研修老人Ⅱ 「コミュニケーションとチームワークで取り組む介護」	12月14日	1名
伊賀保健所 給食施設管理者研修会	1月11日	1名
三重県介護福祉士会 サービス提供責任者研修	2月7日 他5日	1名

三老協 養護部会研修会	2月9日	1名
伊賀保健所 食品の表示講習会	2月20日	1名
伊賀圏域障がい福祉連絡協議会ヘルパー部会 第2回ヘルパースキルアップ研修	3月15日	1名
三重県 介護認定審査会委員新規研修会	3月23日	1名
計	50件	60名

<特別養護老人ホーム第二梨ノ木園>

(1)利用者の状況

ア 入所利用者数

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
利用者数	1,476名	1,516名	1,425名	1,468名	1,465名	1,469名	1,507名	1,436名

月別	12月	1月	2月	3月	合計	稼働率	平均介護度
利用者数	1,498名	1,481名	1,303名	1,493名	17,537名	96.0% (1日平均48.0名)	4.2

イ 年齢構成

以上 未満	65歳 65歳	65歳 70歳	70歳 75歳	75歳 80歳	80歳 85歳	85歳 90歳	90歳 計	平均年齢
男	0	0	1	2	3	1	8名	81.5歳
女	0	0	2	1	10	11	18名	88.3歳
計	0	0	3	3	13	12	19名	87.1歳

ウ ショートステイの利用状況

年間利用者数	1日当たり 平均利用者数	平均介護度
6,242名	17.1名(定員20名)	3.1

(2)施設、設備の改善

ア 2・3階利用者トイレの改修工事を行なった。

イ 老朽化していた高架水槽への揚水配管引替工事を行なった。

ウ 見守りケアシステムベッド4台購入し、介護職員の負担軽減を図った。

エ 非常用小型発電機の購入及び非常用電源配線工事を行ない非常事態に備えた。

(3)安全対策の充実

共同防火管理協議会として、火災、震災、その他の災害予防及び人命の安全並びに被害の軽減及び防止のための対策会議を月1回開催し、対策等を検討した。また、災害時職員招集基準を策定し、確実な非常招集が可能となるよう携帯用カードを作成し、職員に配付した。更に、非常災害対策計画の策定に着手した。

総合防災対策強化事業として、地域消防団との合同避難訓練を実施した。また、近い将来に発生が予想される巨大地震や、土砂災害、火災などを想定し、利用者を含めた避難訓練を毎月



実施した。備蓄品等についても、更なる充実に努めた。

#### (4) 施設機能の強化と個別ケアの充実

ア 介護の重度化に対応した個別的援助を強化した。

イ 家族との協力関係の緊密化を図った。

ウ 福祉教育への協力と人材確保に向けた実習受け入れ及び地域交流を促進した。

(交流事業)

実 施 内 容	実施月日	人 員
「花まつり」にちなんで西蓮寺住職による法要と法話	4月9日	1名来園
伊賀白鳳高校ヒューマンサービス科3年生(Ⅳ期)の施設実習	4月14日 ～8月31日 22日間	2名実習
黒住教上野中教会草引き奉仕	5月15日	18名来園
岡波看護専門学校3年生の施設実習	6月6日 ～6月10日 2日間	9名実習
岡波看護専門学校3年生の施設実習	6月13日 ～6月17日 2日間	10名実習
長田保育園児との交流会	6月14日	18名来園
大和幸司様 歌謡ショー	6月23日	4名来園
曙保育園児との交流会	7月8日	50名来園
伊賀白鳳高校ヒューマンサービス科2年生(Ⅰ期)の施設実習	7月21日 ～7月29日 7日間	1名実習
津保護観察所による社会貢献活動(車椅子清掃)	8月26日	4名来園
伊賀市上野仏教会の方々による盂蘭盆法要	8月28日	8名来園
伊賀白鳳高校ヒューマンサービス科3年生(Ⅵ期)の施設実習	9月8日 ～12月15日 10日間	1名実習
三田コーラスグループ	9月25日	12名来園
よっといでまつりへ作品展示(俳句)	11月20日	3名参加
大和幸司様 歌謡ショー	11月22日	4名来園
伊賀白鳳高校ヒューマンサービス科2年生(Ⅲ期)の施設実習	1月17日 ～3月14日 7日間	2名実習
伊賀市上野仏教会の方々による彼岸法要	3月31日	9名来園
	17件	156名

#### (5) 職員の資質向上

老人福祉施設職員としての資質向上を図るため、法人内研修会のほか、梨ノ木職員研修会や各種委員会、検討チームによる勉強会、施設外の研修会に積極的に参加した。

(委員会・検討チーム名)

\*虐待防止委員会

\*終末期ケア委員会

\*感染症対策委員会

\*リスクマネジメント委員会

\*褥瘡予防対策委員会

\*吸痰・胃ろう委員会

\*生活改善チーム

\*環境改善検討チーム

(施設外研修)

研 修 会 名	開 催 月 日	参加人員
上野商工会議所 新規学卒就職者激励会&セミナー	4月20日 他1日	4名
伊賀市人権学習企業等連絡会 新規採用者セミナー	5月24日	1名
全盲老連 福祉講演会並びに総会及び施設長研修会	6月8日～9日	1名
三重県公安委員会 安全運転管理者講習	6月14日	1名
三重県社協 新任、中堅、指導的職員研修	6月14日 他17日 10件	15名
全老施協 東海北陸ブロック老人福祉施設研究大会(愛知大会)	6月20日～21日	2名
三重県 介護保険サービス事業者等集団指導	6月21日	2名
三重県社協 業種別研修老人Ⅰ 「老人福祉施設における自立支援介護について学ぶ」	6月27日	1名
全盲老連 第36回新任ケアワーカー研修会	6月28日 ～7月1日	1名
社会福祉振興・試験センター 第1回民間社会福祉施設合宿研修会	7月4日～8日	1名
伊賀老施協 ストレスチェック研修会並びに施設長会	7月15日	1名
伊賀市社会福祉法人連絡会 虐待防止セミナー	7月30日	1名
三重県 社会福祉法人役員及び幹部職員研修会	8月2日	1名
三重県社協 自主企画研修「職員を育てる!職場研修の実践方法」	8月25日	1名
三重県社協 喀痰吸引等研修	8月26日 他9日	2名
三老施協 人材育成に関する研修会[Ⅰ]	8月30日	1名
全盲老連 ケアワーカー研修会	9月14日～15日	1名
三重県 介護施設等における権利擁護推進員養成研修	9月22日 他2日	1名
三重県経営協 実践型リスクマネジメントセミナー 「～事例から学ぶ管理者の事故対応～」	9月28日	1名
三老施協 特養部会接遇研修会[Ⅰ][Ⅱ]	10月3日 他1日 1件	2名
三重県視覚障害者協会 あいふえすたイン菰野	10月6日	1名
三老施協 東海北陸ブロックカンントリーミーティング in 三重	10月13日～14日	1名
三重県社協 課題別専門研修Ⅰ「共生型福祉について考える ～このゆびと～まれの実践から～」	10月14日	1名
三老施協 社会福祉法改正に伴う実務対応セミナー	10月21日	1名
いが移動送迎連絡会 運転協力者ステップアップ講習会	10月22日	1名
伊賀市人権学習企業等連絡会 イクボス講習	10月27日	1名
三老施協 防災対策研修会	11月4日	1名

伊賀市 介護認定審査会委員現任者研修会	11月12日	1名
三重県 介護施設等職員研修事業 「介護施設で働く看護職のための看護実務者研修」	11月14日 他2日	1名
上野商工会議所 中堅社員研修会	11月15日	1名
全老施協 第72回全国老人福祉施設大会(石川大会)	11月15日～16日	2名
日本生命財団 第30回ニッセイ財団シンポジウム 「高齢社会を共に生きる」	11月26日	1名
伊賀老施協 21世紀委員会合同研修会	12月2日	3名
日本認知症ケア学会 東海地域大会	12月4日	1名
三老施協 人材育成に関する研修会[Ⅱ]	12月6日	1名
三重県介護福祉士会 終末期セミナー	12月13日	1名
中勢伊賀地域認知症疾患医療センター 第2回中勢伊賀地域認知症疾患医療センター研修会	1月19日	1名
全老施協 全国老人福祉施設研究会議(長崎大会)	1月24日～25日	1名
三重県 水害・土砂災害への備えに関する要配慮者利用施設の 管理者向け説明会	2月15日	1名
伊賀保健所 食品の表示講習会	2月20日	1名
計	51件	64名

<老人デイサービスセンターなしのき>

(1)利用者の状況

ア 利用者数

区分	利用登録者	年間開所日数	年間利用者数	1日当たり 平均利用者数
平日	87名	258日	6,163名	23.8名
日曜日	20名	51日	736名	14.4名

イ 利用内容別状況

開所日数	通所介護	介護予防	総合事業(現行 相当サービス)	入浴サービス	給食サービス
309日	6,258名	343名	298名	5,712名	6,872名

(2)年間行事実施状況

月別	内 容
4月	誕生会、防災訓練、なしのき開所19周年記念(職員による寸劇・コント・歌・サックス・ギター等)、ほっとクラブ(小物づくり)
5月	誕生会、防災訓練、語り部塾、ほっとクラブ(小物づくり)、母の日特集(母の日エピソード・洗濯物干しゲーム)、子どもたちとの交流会(長田保育園)
6月	誕生会、防災訓練、ほっとクラブ(小物づくり)、父の日特集(メッセージ・卓袱台ひっくり返しゲーム)、厨房害虫駆除、地域との交流会(いきいきサロン長田)、子どもたちとの交流会(府中保育園)、施設実習(岡波看護専門学校19名)
7月	誕生会、防災訓練、語り部塾、ほっとクラブ(小物づくり)、七夕まつり(紙芝居)、栄養講座(夏野菜と夏バテ防止)、地域との交流会(大野木ゆうゆうクラブ)

8月	誕生会、防災訓練、小さな縁日(輪投げ・ヨーヨー釣り・的入れ)、ほっとクラブ(小物づくり)、地域との交流会(いきいきサロン長田)、子どもたちとの交流会(花之木保育園)、職場体験3名
9月	誕生会、防災訓練、語り部塾、ほっとクラブ(小物づくり)、敬老週間(あのととき、このとき写真館・作品展示)、腰痛・浮腫について、職場体験(崇廣中学校)、地域との交流会(いきいきサロン長田・花のモチーフ)
10月	誕生会、防災訓練、栄養講座、ほっとクラブ(小物づくり)、子どもたちとの交流会(みどり保育園:2日間)、なしのき大運動会
11月	誕生会、防災訓練、ほっとクラブ(小物づくり)、往古梨まつり、カフェなしのき(ひとくちカステラ・ハワイアンパンケーキ)、長田地区文化祭、語り部塾
12月	誕生会、防災訓練、フラダンス(モハラカプア来訪)、ほっとクラブ(小物づくり)、一筆啓上(絵馬づくり、賀状づくり)
1月	誕生会、防災訓練、ほっとクラブ(小物づくり)、施設実習(大川学園:3日間)、新春お祝い会(昔なつかしいあそび)
2月	誕生会、防災訓練、ふれあいいきいきサロン長田来訪、ほっとクラブ(小物づくり)、職場体験(県社協)、長寿クイズ大会
3月	誕生会、防災訓練、合同避難訓練、語り部塾、ほっとクラブ(小物づくり)、楽しくクッキング(桜餅・長芋とレンコンの焼餅)、健康相談(腸の働きと乳酸菌)

### (3) 職員の資質向上

老人福祉施設職員としての資質向上を図るため、法人内研修会のほか、梨ノ木職員研修会、定例勉強会や施設外の研修会に積極的に参加した。

自己評価表を記入することにより、業務に対しての目標や取り組む態度等に積極性を見出すことができた。

(施設外研修)

研 修 会 名	開 催 月 日	参加人員
三重県社協 職場体験受入事業所指導担当職員研修会	5月13日	1名
三重県デイ協 総会・第1回研修会	5月22日	1名
三重県 介護保険サービス事業者等集団指導	6月21日	1名
三重県 介護施設等における権利擁護推進員養成研修	9月22日 他2日	1名
三重県経営協 実践型リスクマネジメントセミナー 「～事例から学ぶ管理者の事故対応～」	9月28日	1名
三重県社協 指導的職員研修	10月4日 他1日	1名
いが移動送迎連絡会 運転協力者ステップアップ講習会	10月22日	1名
三重県社協 キャリアパス対応生涯研修課程 「チームリーダーコース」	11月1日 他1日	1名
日本生命財団 第30回ニッセイ財団シンポジウム 「高齢社会を共に生きる」	11月26日	1名
計	9件	9名

### (4) 地域交流

長田地区住民自治協議会の依頼により、本年度2回、休業日を利用して「いきいきサロン長田」を開催し、地域の方々との交流を図った。

### (5) 安全対策の充実

共同防火管理協議会として、火災、震災、その他の災害予防及び人命の安全並びに被害の軽

減及び防止のための対策会議を月1回開催し、対策等を検討した。また、災害時職員招集基準を策定し、確実な非常招集が可能となるよう携帯用カードを作成し、職員に配付した。更に、非常災害対策計画の策定に着手した。

総合防災対策強化事業として、地域消防団との合同避難訓練を実施した。また、近い将来に発生が予想される巨大地震や、土砂災害、火災などを想定し、利用者を含めた避難訓練を毎月実施した。備蓄品等についても、更なる充実に努めた。

<在宅介護支援センターなしのき>

(1)利用者数

区分	年間相談人数					相談実人数	在宅サービス 適用者実人数
	訪問相談	来園相談	電話相談	文書	計		
人数	2名	5名	19名	0名	26名	28名	21名

(2)相談内容別件数

相談内容	介護保険サービス	経済的問題	合計
件数	28件	0件	28件

(3)ケアプラン作成実施状況

ケアプラン契約者数 93名

内 容	年間利用人数
通所介護(含：認知症対応型)	634名
短期入所生活介護	219名
短期入所療養介護(介護老人保健施設)	51名
特定施設入居者生活介護(短期利用)	0名
通所リハビリテーション	83名
訪問介護	340名
訪問看護(リハビリテーションを含む。)	58名
訪問入浴	14名
訪問リハビリテーション	6名
福祉用具貸付	533名
地域密着型通所介護	83名

(4)各種懇談会等情報交換の実施状況

実施月日	内 容
平成28年 7月11日 11月28日	みんなの家において介護予防教室
平成28年 8月23日	大野木公民館において介護予防教室(大野木ゆうゆうクラブ)
平成29年 3月25日	治田ふれあいプラザにおいて介護予防教室(いきいきサロンなごみ)

#### (5) 職員の資質向上

老人福祉施設職員としての資質向上を図るため、法人内研修会、梨ノ木職員研修会及び施設外の研修会に積極的に参加した。

(施設外研修)

研 修 会 名	開 催 月 日	参加人員
伊賀市地域包括支援センター 事例検討会	4月13日	1名
伊賀市 介護保険住宅改修受領委任講習会	6月14日	1名
三重県 平成28年度介護保険サービス事業者等集団指導	6月22日	1名
伊賀市地域包括支援センター 研修会	7月12日 他1件	2名
同上 伊賀市介護予防・日常生活支援総合事業(新しい総合事業)の実施に伴う説明会	7月19日 他1件	2名
厚労省、全社協 平成28年度全国社会福祉大会	11月11日	1名
三重県 主任介護支援専門員研修	1月11日 他11日	1名
計	9件	9名

#### 4 梨丘園(りきゅうえん)について

「障害者自立支援法」から「障害者総合支援法」に移行し、更に平成26年(2014)からは、障がい者に対する相談支援を中心とする地域生活支援事業が開始されている。梨丘園では、成人を対象とした「指定特定相談支援事業所 梨丘」に加え、本年度より「障害児相談支援事業所ヴェルデ」を開所し、児童から成人まで幅広いライフステージの方々の福祉に関する諸問題について、その相談に応じ、必要な情報提供やサービスの利用支援を行なうほか、権利擁護のために必要な援助を行なった。また、障がい者が自立した日常生活や社会生活を営むために必要な障害福祉サービスが、適切かつ効率的に利用できるよう計画相談支援を提供した。

障害者施設においては、利用者の人格が尊重され生きがいをもって生活を送れるよう、個々の心身の状況に応じた支援計画を作成しその実践に努めた。とりわけ、重複化・重度化している利用者の身体機能の維持向上を図るため、理学療法士や言語聴覚士等の専門職の指導による個別プログラムに基づく機能訓練を行なうことで、きめ細かい介護支援サービスを提供した。更に、梨ノ木園、第二梨ノ木園の利用者と合同での書道、絵手紙教室等の創作・文化活動及びリクエスト外出、社会活動に積極的に参加し、地域社会との交流を深めることで、生きがいと潤いのある生活の実現を図った。

大きく変動する福祉情勢の中で、QOL と自立心の向上を目指し、新たなサービス体系に基づく利用者の様々なニーズへの対応と、社会、経済状況など幅広い知識を吸収し、洞察力、先見力を発揮することのできる福祉職員を育成するため、各種研修会に積極的に参加した。

(1) 利用者の状況

ア 利用者の年齢・性別状況

以上 ～ 未満	25歳 ～ 30歳	30歳 ～ 35歳	35歳 ～ 40歳	40歳 ～ 45歳	45歳 ～ 50歳	50歳 ～ 55歳	55歳 ～ 60歳	60歳 ～ 65歳	65歳 ～ 70歳	70歳 ～	合計
男	0	0	2	1	1	2	2	1	4	0	13名
女	0	0	0	0	0	0	1	4	1	1	7名
計	0	0	2	1	1	2	3	5	5	1	20名

[※定員 20名]

性別	最高年齢	最少年齢	平均年齢
男	69歳7か月	35歳9か月	55.23歳
女	74歳2か月	57歳9か月	63.28歳
			59.25歳

イ 身体障がい状況

・障害支援区分

区分3	1名
区分4	1名
区分5	5名
区分6	13名
合計	20名
平均区分	5.5

・障がいの主因子

傷病名	男	女	合計
脳性麻痺	2	5	7名
脳血管障害・脳挫傷・脳腫	7	0	7名
頸髄損傷	1	0	1名
その他	3	2	5名
合計	13	7	20名

・障がいの部位

障がい名		人数(重複障がい再掲)	
視覚		6(4)	
聴覚・平衡		1(1)	
肢体不自由		18(5)	
		四肢機能	11(2)
		両上肢	0(0)
		両下肢	5(2)
		右半身	1(0)
	左半身	1(1)	
合計		20(5)名	

(2) 年間行事実施状況

月別	実施内容
4月	リクエスト外出、カフェりきゅう、花まつり、トーク DE りきゅう、防災訓練、ハンドメイドりきゅう(はしまきとフレンチトースト)
5月	第15回開園記念日(タペストリー作り)、リクエスト外出、カフェりきゅう、防災訓練、あっちこっちおでかけ隊(余野公園)
6月	リクエスト外出、カフェりきゅう、あっちこっちおでかけ隊(映画)、防災訓練、医事講話

7月	リクエスト外出、カフェりきゅう、栄養講座、防災訓練、友遊旅行(近いコース・ひまわりコンサート)
8月	リクエスト外出、カフェりきゅう、サマープチフェスタ、防災訓練
9月	リクエスト外出、カフェりきゅう、防災訓練、第11回伊賀市障がい者スポーツ大会
10月	リクエスト外出、カフェりきゅう、トークDEりきゅう、栄養講座、防災訓練、あっちこっちおでかけ隊(上野天神祭)
11月	第16回往古梨まつり、リクエスト外出、カフェりきゅう、防災訓練、友遊旅行(遠いコース・エキスポシティ)
12月	カフェりきゅう、年忘れ会(今年はどんな年だったかな～パフォーマンスクイズ～)、防災訓練、大掃除
1月	新年祝賀会、新春ゲーム大会、リクエスト外出、カフェりきゅう、防災訓練
2月	リクエスト外出、カフェりきゅう、トークDEりきゅう、防災訓練、還暦お祝い会、節分、ハンドメイドりきゅう(ティラミスとおかずクレープ)、リラクゼーション(足浴・スヌーズレン・ティータイム)
3月	リクエスト外出、カフェりきゅう、栄養講座、合同防災訓練、あっちこっちおでかけ隊(いちご狩り)

\* ボランティアとの協働による絵手紙教室、俳句クラブ、書道クラブ、ふれあいの時等の諸活動を推進した。

\* グループ活動としてリハビリレクリエーション(散歩・ゲーム・体操・球技・創作活動等)を実施した。

### (3) ショートステイの利用状況

年間利用者数	1日当たり平均利用者数
632名	1.7名(定員2名)

### (4) 安全対策の充実

共同防火管理協議会として、火災、震災、その他の災害予防及び人命の安全並びに被害の軽減及び防止のための対策会議を月1回開催し、対策等を検討した。また、災害時職員招集基準を策定し、確実な非常招集が可能となるよう携帯用カードを作成し、職員に配付した。更に、非常災害対策計画の策定に着手した。

総合防災対策強化事業として、地域消防団との合同避難訓練を実施した。また、近い将来に発生が予想される巨大地震や、土砂災害、火災などを想定し、利用者を含めた避難訓練を毎月実施した。備蓄品等についても、更なる充実に努めた。

### (5) 職員の資質向上

障がい者福祉施設職員としての資質向上を図るため、法人内研修会及び梨ノ木職員研修会のほか、施設外の研修会に積極的に参加した。

#### (施設外研修)

研 修 会 名	開 催 月 日	参加人員
上野商工会議所 新規学卒就職者励会&セミナー	4月20日 他1日	1名
京滋奈三重サブブロック QOL委員会	5月20日 他4件	5名
近障協 奈良三重支部サービス管理責任者連絡会	5月20日 他3件	4名



伊賀市人権学習企業等連絡会 新規採用者セミナー	5月24日	1名
三重県社協 業種別研修障害Ⅰ 「障害者福祉をめぐる関係法令について」	6月6日	1名
三重県社協 新任、中堅、指導的職員研修	6月14日 他13日 7件	10名
伊賀市障がい者地域自立支援協議会 相談部会研修会	6月22日	1名
反差別・人権研究所みえ 第1回県民啓発講座「障害者差別解消法」	6月22日	1名
三重県社協 課題別専門研修Ⅰ「アンガーマネジメント研修」	7月4日	1名
伊賀市消防本部 甲種防火管理新規講習	7月7日 他1日	1名
全障協 第40回全国身体障害者施設協議会研究大会	7月21日～22日	2名
日本てんかん協会 第39回てんかん基礎講座	7月21日～22日	1名
三重県 障害福祉サービス事業者等集団指導	7月22日	2名
伊賀市社会福祉法人連絡会 虐待防止セミナー	7月30日	1名
三重県社協 喀痰吸引等研修	8月26日 他9日	1名
三重県 三重県障がい者差別解消セミナー	9月9日	1名
三重県 介護施設等における権利擁護推進員養成研修	9月22日 他2日	1名
三重県経営協 実践型リスクマネジメントセミナー 「～事例から学ぶ管理者の事故対応～」	9月28日	1名
県障協 障害福祉セミナー	10月18日	1名
三重県社協 自主企画研修「介護記録のポイント」	10月19日	1名
三重県社協 キャリアパス対応生涯研修課程「管理職員コース」	10月26日 他1日	1名
三重県 三重県栄養改善大会「みえの食フォーラム」	11月15日	1名
上野商工会議所 中堅社員研修	11月15日	1名
全盲老連 テーマ研修会	11月15日～16日	1名
近障協 第28回近障協研究大会	11月24日	2名
全社協 第6回職員スキルアップ研修会	12月5日～6日	1名
近障協 施設長研修会	2月16日～17日	1名
伊賀圏域障がい福祉連絡協議会 高次脳機能障害研修会	2月21日	2名
伊賀保健所 給食施設従事者・地域職域健康管理担当者研修会	3月7日	1名
計	42件	49名

#### (6) 施設・設備の改善

- ア 居室1部屋の空調設備の更新を行なった。
- イ 災害時の停電に備え、自家発電の整備を行なった。
- ウ ナースコール設備の改修工事を行なった。

《 指定特定相談支援事業所梨丘 》

#### (1) 利用者数(年間相談件数)

区分	訪問相談	来所相談	同行	電話相談	メール相談	個別支援 会議	関係機関
件数	311 件	26 件	31 件	315 件	電子メール 8 件 郵 送 23 件	27 件 サービス 担当者会議 74 件	815 件

・相談内容別件数

相談内容	件数
福祉サービスの利用等に関する支援	1,311 件
障がいや病状の理解に関する支援	7 件
健康・医療に関する支援	211 件
不安の解消・情緒安定に関する支援	124 件
保育・教育に関する支援	0 件
家族関係・人間関係に関する支援	54 件
家計・経済に関する支援	24 件
生活技術に関する支援	23 件
就労に関する支援	11 件
社会参加・余暇活動に関する支援	35 件
権利擁護に関する支援	6 件
その他	77 件
計	1,883 件

・障がい別

障がい状況	身体障害	重度心身障害	知的障害	精神障害	発達障害
人数	73 名	1 名	30 名	13 名	0 名

障がい状況	高次脳機能障害	その他	実人数
人数	6 名	0 名	91 名

(2) 相談支援計画書作成実施状況等

- ア 本年度契約者数 87 名
- イ 利用支援計画作成数 88 件
- ウ 継続支援計画作成数 99 件

(3) 職員の資質向上

障がい者福祉施設職員としての資質向上を図るため、法人内研修及び梨ノ木職員研修会のほか、施設外の研修会に積極的に参加した。

(施設外研修)

研 修 会 名	開 催 月 日	参加人員
三重県身体障害者総合福祉センター 第 29 回高次脳機能障害者地域支援セミナー	6 月 16 日	1 名
伊賀市障がい者地域自立支援協議会 相談部会研修会	6 月 22 日	1 名
伊賀医師会、岡波総合病院 第 2 回多職種連携研修会	7 月 30 日	1 名

三重県社協 指導的職員研修	10月4日 他1日	1名
伊賀圏域障がい福祉連絡協議会 平成28年度伊賀圏域障がい福祉連絡協議会くらし部会研修 「ありのままに生きる～一人ひとりのくらしに寄り添う～」	12月2日	1名
国立病院機構三重病院 重症心身障がい児・者等支援者、コーディネーター等 育成研修	12月5日 他1日	1名
伊賀圏域障がい福祉連絡協議会 「高次脳機能障害研修会」	2月21日	1名
計	7件	7名

《 指定障害児相談支援事業所ヴェルデ 》

(1) 利用者数(年間相談件数)

区分	訪問相談	来所相談	同行	電話相談	メール相談	個別支援 会議	関係機関
件数	62件	1件	2件	14件	電子メール 0件 郵送 1件	1件 サービス 担当者会議 22件	103件

・相談内容別件数

相談内容	件数
福祉サービスの利用等に関する支援	207件
障がいや病状の理解に関する支援	0件
健康・医療に関する支援	1件
不安の解消・情緒安定に関する支援	0件
保育・教育に関する支援	6件
家族関係・人間関係に関する支援	0件
家計・経済に関する支援	0件
生活技術に関する支援	0件
就労に関する支援	0件
社会参加・余暇活動に関する支援	0件
権利擁護に関する支援	0件
その他	6件
計	220件

・障がい別

障がい状況	身体障害	重度心身障害	知的障害	精神障害	発達障害
人数	3名	4名	13名	0名	3名

障がい状況	高次脳機能障害	その他	実人数
人数	0名	1名	23名

(2) 相談支援計画書作成実施状況等

ア 本年度契約者数	15 名
イ 利用支援計画作成数	22 件
ウ 継続支援計画作成数	25 件

(3) 職員の資質向上

障がい者福祉施設職員としての資質向上を図るため、法人内研修及び梨ノ木職員研修会のほか、施設外の研修会に積極的に参加した。

(施設外研修)

研 修 会 名	開 催 月 日	参加人員
三重県障がい者相談支援センター 平成 28 年度三重県相談支援従事者等専門コース別研修 (障がい児支援)	9 月 30 日	1 名
計	1 件	1 名

## 5 上野点字図書館について

(1) 図書の整備等

6 月からサピエ(視覚障害者情報総合ネットワーク)と連動した Web 図書館システムが本格的に稼働し、図書の貸出及び返却、利用者管理業務のすべてが、オンラインシステムへ完全に移行されたため、業務の効率化が大きく図られた。

また、4 月から施行された障害者差別解消法を受け、視覚障がい者や発達障がい者など、活字資料をそのままの形では利用できない人たちの読書環境を向上させるため、当館発行の機関誌を市立図書館に備え付けるなどして、点字及び録音資料の状況について周知に努めた。

ア 蔵書の状況

(平成 29 年 3 月 31 日現在)

区 分	タイトル数	分冊数 (分巻数)
点字図書	6, 227	19, 775 冊
録音図書	10, 843	22, 750 巻

イ 資料の利用状況

資料の形態	年間延べ貸出利用数	データダウンロード利用数
点字	1, 149 人	758 件
録音	9, 913 人	5, 969 件

ウ 機関誌の発行

- ・「図書館通信」(墨点字版・録音版・大活字版) 隔月発刊(偶数月) 発行部数 170 部  
主な送付先 個人利用者、視覚障害者情報提供施設、公共図書館等

エ 逐次刊行物の製作、発行

- ・「声の中日春秋」(中日新聞コラム/録音版) 2 週間毎に発刊 年 26 回
- ・「広報いが市」(伊賀市/点字版・録音版) 年 23 回
- ・「伊賀市議会だより」(伊賀市/録音版) 年 4 回
- ・「あいしあおう」(伊賀市社会福祉協議会/録音版) 年 11 回

・「墨字図書案内」(録音版)

隔月発刊(奇数月)

オ 啓発業務

<機器等の貸出>

録音図書再生機(プレクストーク PTN2)の貸出 利用者 26名

点字器の貸出

青山小学校	65 器	9月13日～9月30日
島ヶ原小学校	8 器	10月27日～11月25日
成和西小学校	12 器	11月14日～11月17日
玉滝小学校	9 器	1月30日～2月10日

点字図書の貸出

奈良県立奈良高等学校 12タイトル 11月10日～12月8日

点字雑誌の貸出

奈良県立奈良高等学校 1タイトル 11月10日～12月8日

録音機材一式

伊賀市健康福祉部医療福祉政策課 1月23日～2月6日

<点字教室及び視覚障がい者福祉啓発のための講師派遣>

団体名	実施月日	児童数
青山小学校4年生	9月13日	62名
上野西小学校4年生	9月26日	131名
島ヶ原小学校4年生	10月27日	7名
新居小学校4年生	11月30日	28名

<施設見学受入>

団体名	実施月日	人数
山田地域住民自治協議会	2月5日	11名

カ 法人内他施設との連携業務

- ・かしの木ひろば 「ときめきニュース」の点字版製作 年12回(187頁)
- ・梨ノ木園 給食献立表等の点字印刷 年60回(694頁)
- ・梨ノ木園 利用者への対面朗読 年23回
- ・梨ノ木園 多目的室への点字図書整備 33タイトル94冊

(2) ボランティアの養成状況等

点訳ボランティアの養成を図るための点訳講習会を開催し、公募により参加した13名が、延べ20回の講習会を受講の後、個別学習に移行した。また、前年度に開催した音訳講習会の修了者を対象としたアフター研修会を実施し、多種多様な墨字資料に対応できる人材の確保・養成に努めた。

ア ボランティア数

グループ名	会員数	計
上野点訳奉仕グループ あい	8名	点訳ボランティア数 20名
名張点訳グループ あかり	12名	
上野音訳グループ しのび	21名	音訳ボランティア数 41名
名張音訳グループ こだま	20名	

イ 養成業務

<講習会>

・点訳ボランティア養成講習会	20回	延べ受講者数	211名
・音訳ボランティア養成アフター講習会	12回	延べ受講者数	78名
・音訳ボランティア養成デイジー編集講習会	3回	延べ受講者数	17名
・点訳ボランティア定例会	13回	延べ出席者数	98名
・音訳ボランティア定例会	21回	延べ出席者数	245名
・点訳・音訳ボランティア合同研修会		参加者数	26名

実施日： 11月15日(火)

研修内容： 視覚障害者総合福祉施設「京都ライトハウス」等の施設見学

(3) 委託事業その他視覚障がい者関連業務

ア 三重県

- ・第24回参議院議員通常選挙に係る「候補者名簿」の点字版製作及び「投票用紙用点字シール」の製作
- ・三重県議会議員鳥羽市選挙区補欠選挙に係る「投票用紙用点字シール」の製作

イ 伊賀市

- ・伊賀市議会議員選挙に係る「選挙公報」「候補者名簿」の点字版製作及び「投票用紙用点字シール」の製作
- ・伊賀市視覚障害者福祉会総会資料の点字版製作
- ・伊賀市障がい者相談員連絡会開催に係る会議資料等の点字版製作
- ・伊賀市障がい者スポーツ大会プログラムの点字版製作
- ・伊賀市障がい者福祉大会プログラムの点字版製作
- ・三重県障害者相談員等研修会開催案内の点字版製作
- ・第3次伊賀市地域福祉計画の録音版製作
- ・「広報いが市」点字版・録音版製作及び発送並びにホームページ掲載用MP3データの提供
- ・「伊賀市議会だより」録音版製作及び発送
- ・点訳、音訳奉仕員養成事業

(4) 職員の研修状況

研 修 会 名	開 催 月 日	参加人員
中部ブロック館長会議	6月2日	2名
全視情協通常総会並びに施設・団体長研修会	6月9日	1名
三重県社協 生涯研修[中堅I]	7月20日～21日 7月26日～27日	2名
日盲社協 点字指導員講習会	8月23日～25日	1名
中部ブロック点訳担当職員・サービス担当職員研修会	9月8日～9日	1名
三重県障がい者差別解消セミナー	9月9日	1名
第42回全国視覚障害者情報提供施設大会	10月20日～21日	1名

中部ブロック音訳担当職員及びボランティア研修会	11月24日～25日	1名
名張市社会福祉大会	11月13日	1名
名張市地域福祉教育総合支援システムキックオフ大会	11月13日	2名
テキストデイジー担当者研修会	3月17日	1名
合 計	12件	14名

## 6 伊賀市盲人ホームについて

盲人ホームの設置目的は、三療師(あん摩マッサージ師、はり師、灸師)資格を有する視覚障がい者に自身での開業又は就業までの期間において、施設の利用を認めるとともに技術指導を行ない、利用者の自立更生を図ることである。三療師を志す視覚障がい者は少なくなっているが、視覚に障がいのある方々にとって就業の道は狭く、その機会も少ない現状から見ると、三療師資格を有することの意義や、現在三重県で唯一の研修施設である伊賀市盲人ホームの存在意義は大きく、本年度も次のような事業を行なった。

- (1) 三療師の資格は国家資格であるが、昨今の癒しブームにより無資格あるいは短期の講習で付与されるような類似の資格による施療者が急増している。それに伴った未熟な施療による健康被害も多く発生しているため、あん摩やマッサージ治療について、正しく認識してもらえようその広報に努めた。
- (2) 地域の方々への三療の正しい知識の普及と盲人ホームの広報を目的として、針療師の資格を持つ健康体操指導者による健康講座を定期的に継続して開催した。
- (3) 老人デイサービスセンターなしのきと協働し、盲人ホームの施療師が定期的に同施設を訪問し、利用者の方々にマッサージ等の施療をしながら交流を図った。
- (4) 盲養護老人ホーム梨ノ木園及び伊賀市視覚障害者福祉会と、様々な行事を通して交流を行ない、連携を深めるとともに地域の視覚障がい者の拠点としての施設運営に努めた。

## 7 かしの木ひろばについて

平成6年(1994)、三重県下初の「介護型」在宅障害者デイサービス施設として開園した‘かしの木ひろば’は、22年を迎えた。障害者自立支援法が施行された平成18年(2006)以降は、生活介護事業所と、平成23年(2011)には就労継続支援B型として働く意欲のある人たちを支援するため設置した多機能型事業所として、障がい者の社会参加と生きがいのある生活の実現に向けて事業を展開している。また、長期間利用がなかった方の再利用の促進や難病の方など利用者の確保に努めた。更に、ホームヘルプサービス事業では、障がい児者・介護保険対象者へのサービス提供を行ない、通所と訪問の連携により安定的な支援を提供することができた。本年度も、利用者の様々なニーズに対応するため、障がい者団体、関係機関、地域住民、家族等々との連携を密にすると共に、職員一人ひとりの専門性や技術の向上に努めた。なお、施設及び利用者等の安全対策を図るため、寺町3施設(かしの木ひろば、上野点字図書館、伊賀市盲人ホーム)が共同して、防災訓練を毎月実施した。また、みえ福祉第三者評価を受審し、業務に対する振り返りの機会となって、改善計画に繋げることができた。

- (1) 多機能型通所事業  
(生活介護事業 定員20名)

障害支援区分3から6(50歳以上は区分2以上)の方を対象として、個々の心身の状況に応じた個別支援計画に基づき、入浴・排せつ・食事等の介護サービスの提供と、創作的活動や軽作業と感覚統合的運動等の日中活動を延べ4,694名に対し行なった。また、筋ジストロフィーの難病の方を受け入れ、今まで以上に医療や他機関の連携を深めた。加えて、当事業所が伊賀市より受託している日中一時支援事業において、特別支援学校伊賀つばさ学園高等部の生徒を放課後や長期休暇中に受け入れた。また、地域や他事業所の行事にも積極的に参加するなどして、利用者の生活の質の向上に向けた支援を行なった。

(就労継続支援B型事業 定員10名)

本年度の利用者は一日平均3.9名で、百円均一の商品の組み立て・梱包と自動車部品の加工作業を中心に行ない、お墓参り代行業務は昨年より5軒増え15件の契約があり、延べ88回墓参したほか、さをり織りの製品の販売等も継続して実施し、工賃の大幅な増額に寄与することができた。

ア 利用者の状況

・年齢別状況

サービス	年齢							合計
	19歳	20歳 29歳	30歳 39歳	40歳 49歳	50歳 59歳	60歳		
生活介護	0	7	8	4	2	6	27名	
就労支援	0	0	1	0	1	3	5名	
合計	0	7	9	4	3	9	32名	

・障がい別内訳

障がい名	男	女	合計
脳性マヒ	2(2)	1(1)	3(3)名
脊損、頸損	1	0	1名
脳血管障害	2	0	2名
脳挫傷(高次脳機能障害)	1	1	2名
視覚・聴覚障害(重複)	1	0	1名
知的障害	9	4	13名
その他	3(2)	7(3)	10(5)名
合計	19(4)	13(4)	32(8)名

※ ( )は、知的障害との重複数

・障害支援区分

		区分なし	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
		生活介護	身障	0	2	1	0	3
	知的	0	2	2	3	3	1	11名
就労支援	身障	1	1	0	0	0	0	2名
	知的	1	1	1	0	0	0	3名
合計	合計	2	6	4	3	6	11	32名

※ 生活介護事業利用者27名、就労B型事業利用者5名の支援区分



イ 年間利用状況

開設日数		利用者数			利用平均			送迎サービス		
生活介護	就労継続B	生活介護	就労継続B	日中一時	生活介護	就労継続B	日中一時	生活介護	就労継続B	日中一時
262	260	4,694	1,018	121	17.92	3.91	0.46	6,231	1,011	106

ウ 作業賃金の状況

	支払工賃	総作業時間	1時間の賃金
28年度	734,930円	6,075時間	
1か月の平均	61,244円	506時間	121円

エ 外部講師による訓練等

①講座等の実施状況	趣味の会	10回
	お茶の会	12回
②機能訓練等の実施状況	音楽療法	12回

オ 年間行事実施状況

月別	内 容
4月	花見ピクニック、日中一時(ゆるキャラまつり)、映画、散歩
5月	日中一時(育成園まつり)、My外出(余野公園)、散歩
6月	My外出(イオンモール鈴鹿)、映画、散歩
7月	日中一時(オートセンターモリ感謝祭、ふれあいコンサート)、散歩
8月	My外出(和食)、日中一時(にぎわいフェスタ)
9月	障がい者スポーツ大会、My外出(ラーメン)、散歩
10月	上野天神祭散歩、散歩
11月	バス旅行(名古屋市科学館)、My外出(喫茶店)、散歩
12月	クリスマス会、My外出(カラオケ)、散歩
1月	初詣散歩、My外出(牛丼)、散歩
2月	My外出(寿司)、散歩(伊賀上野城下町のおひなさん)
3月	My外出(洋食)、散歩

(2) ホームヘルプサービス事業

生活介護事業及び伊賀圏域の障がい児者相談支援事業、居宅介護支援事業所、地域包括支援センターとの連携により、障害者総合支援法や介護保険利用者が、円滑で快適な在宅生活を送れるよう、食事、排せつ、入浴等の身体介護・家事(生活)支援、視覚障がい者の方の余暇や視覚的情報の支援、外出に伴う移動の援護等を支援する同行援護等を行った。また、医療観察法の下、司法・医療・福祉が連携を取りながら支援を開始した。

利用者が望まれる在宅生活に対応出来るよう、一人ひとりの意思決定意欲の向上支援を心がけ、家族の介護負担軽減に努め、様々なニーズにも対応出来るように職員のレベルアップも図った。現在、約100世帯を訪問し、サービスを提供している。

福祉有償運送は、介護保険による乗降介助や障害者総合支援法による通院介助や同行援護、移動支援での買い物や余暇等の外出支援の一元利用で、より有効なサービス支援を実施するこ

とができた。

ア. 利用者の状況

・年齢別状況

年齢	19歳	20歳 29歳	30歳 39歳	40歳 49歳	50歳 59歳	60歳 69歳	70歳 79歳	80歳 89歳	90歳	合計
障害者 支援	2	11	17	6	9	14	5	10	0	74名
介護 保険	0	0	0	0	0	6	7	11	2	26名
合計	2	11	17	6	9	20	12	21	2	100名

・障がい別・介護認定別の状況

障がい名・介護認定名	男	女	合計
身体障害者手帳	19	21	40名
療育手帳	15	19	34名
精神福祉手帳	6	5	11名
介護保険(要介護)	8	13	21名
(要支援)	4	1	5名
合計	52	59	111名

※重複あり

イ. 年間事業状況

居宅介護事業

	サービス内容	登録数	訪問回数	訪問時間
利用者	身体介護	29	3,212	2,985.5
	家事援助	15	682	707.5
	通院(身体介護有)	22	348	370.5
	通院(身体介護無)	6	58	172.5
利用児	身体介護	1	11	23.5
合計		73	4,311	4,259.5

行動援護・同行援護

	サービス内容	登録数	訪問回数	訪問時間
利用者	行動援護	1	17	41.5
	同行援護(身体介護有)	15	340	804.5
	同行援護(身体介護無)	3	33	75.0
合計		19	390	921

地域生活支援事業

	サービス内容	登録数	訪問回数	訪問時間
利用者	移動支援(身体介護有)	20	802	1205
	移動支援(身体介護無)	10	253	422.5
利用児	移動支援(身体介護有)	1	5	2.5
合計		31	1,060	1,630

## 介護保険

	サービス内容	登録数	訪問回数	訪問時間
利 用 者	身体介護	13	1,214	935.5
	生活援助	6	167	150
	身体生活	8	500	646.5
	乗降介助	10	445	
	予防訪問介護 H28.9まで	6	143	143
	総合事業（現行）10月～	3	64	64
	総合事業（緩和）11月～	2	21	21
合 計		48	2,554	1,960

※ 重複支援あり

## ウ. 福祉有償運送利用状況

利 用 者 の 内 訳					合 計
身体障がい者	要介護認定者	要支援認定者	精神障がい者	知的障がい者	
976名	691名	114名	312名	831名	2,924名

## (3) 地域交流事業

当施設を活用して、障がい者の俳句の会、身体障がい者団体による会議や研修等が定期的に行なわれた。また、福祉教育への協力と地域との交流を促進するために、岡波看護専門学校生の在宅看護実習、短大生の福祉体験等も積極的に受け入れた。更に、音楽療法等で寺町いきいきサロンの皆さんとの交流を深め、プランターの花植えや年末の窓拭き等を行なった。

### <会議、研修会等の開催状況>

内 容	回数
伊賀市聴覚障害者協会例会等	10回
伊賀市上野視覚障害者福祉会総会、役員会	5回
手話サークル	10回
障がい者の俳句の会	12回
寺町いきいきサロン	10回
福祉実習、その他	8回
計	55回

## (4) 施設整備

空調機器が21年を経過し、老朽化したGHP本体と活動室等12箇所の室内機を4,726,920円で入れ替え整備した。

## (5) 職員の資質向上

社会福祉法人職員としての意識向上を図るため、法人内で実施する各種研修会に参加した。また、障がい者福祉の制度、知識、技術、専門性の錬磨に努めるため、外部講師による研修や、施設外研修にも積極的に参加し、幅広い資質の向上に努めた。更に、福祉有償運送や利用者送迎運転手業務に備え、ステップアップ研修や運転実施研修を全員で行ない、安全運転の意識を高めた。

## 8 梨ノ木診療所について

梨ノ木診療所は、時間的な制約がある中、従前より予防医学の観点から、生活習慣病検診やインフルエンザワクチン・肺炎球菌ワクチン接種及びヘリコバクター・ピロリ検査等を実施し、延べ840名に接種することで、地域医療及び施設利用者への健康管理に努めた。

通所リハビリテーション事業では、在宅機能を保持できるよう個々の利用者に応じたリハビリ訓練をマンツーマンで提供するリハビリテーションを実施した。

平成24年度より地域貢献事業として、「なしのき健康講座」を開催し、地域の皆様に健康意識の向上及び身体機能の保持を目的に、理学療法士の指導のもと健康維持推進に努めた。更に地域の皆様に憩いの場としての役割も担うことができた。

隣接する施設(梨ノ木園、第二梨ノ木園、梨丘園等)を利用する方々には、日々の健康管理のために回診等を定期的に行ない、様々な医療相談に対応した。そして、施設利用者の終末期においては、ご家族・施設職員と共に看取りを行なった。

### (1) 健康診断の充実

健康管理の充実向上を図るため一般健康診断を実施した。 (実施者数 365名)

### (2) 地域貢献事業

なしのき健康講座 38回 年間参加者数 984名

### (3) 安全対策の充実

総合防災対策強化事業として、当法人が計画した梨ノ木園等合同避難訓練に参加した。

### (4) 職員の資質向上

職員としての資質向上を図るため、法人内研修及び梨ノ木職員研修に参加した。

(施設外研修)

研 修 会 名	開 催 月 日	参加人員
県社協 中堅職員研修会Ⅲ	9月1日～2日	1名
伊賀・名賀医師会地区社会保険集団指導	7月28日	3名
計	2件	4名